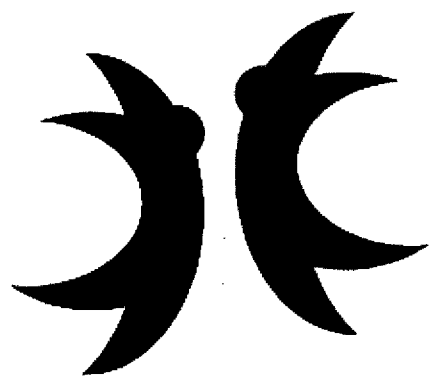


北杜市における日常生活圏域

ニーズ調査の活用について



北杜市介護支援課
唐木 美代子

地域包括ケアの推進にむけて

はじめに

第5期介護保険事業計画「地域包括ケア」推進にあたり、地域に居住する高齢者、その家族の課題を把握するための「日常生活圏域ニーズ調査」をモデル事業として実施することになった。

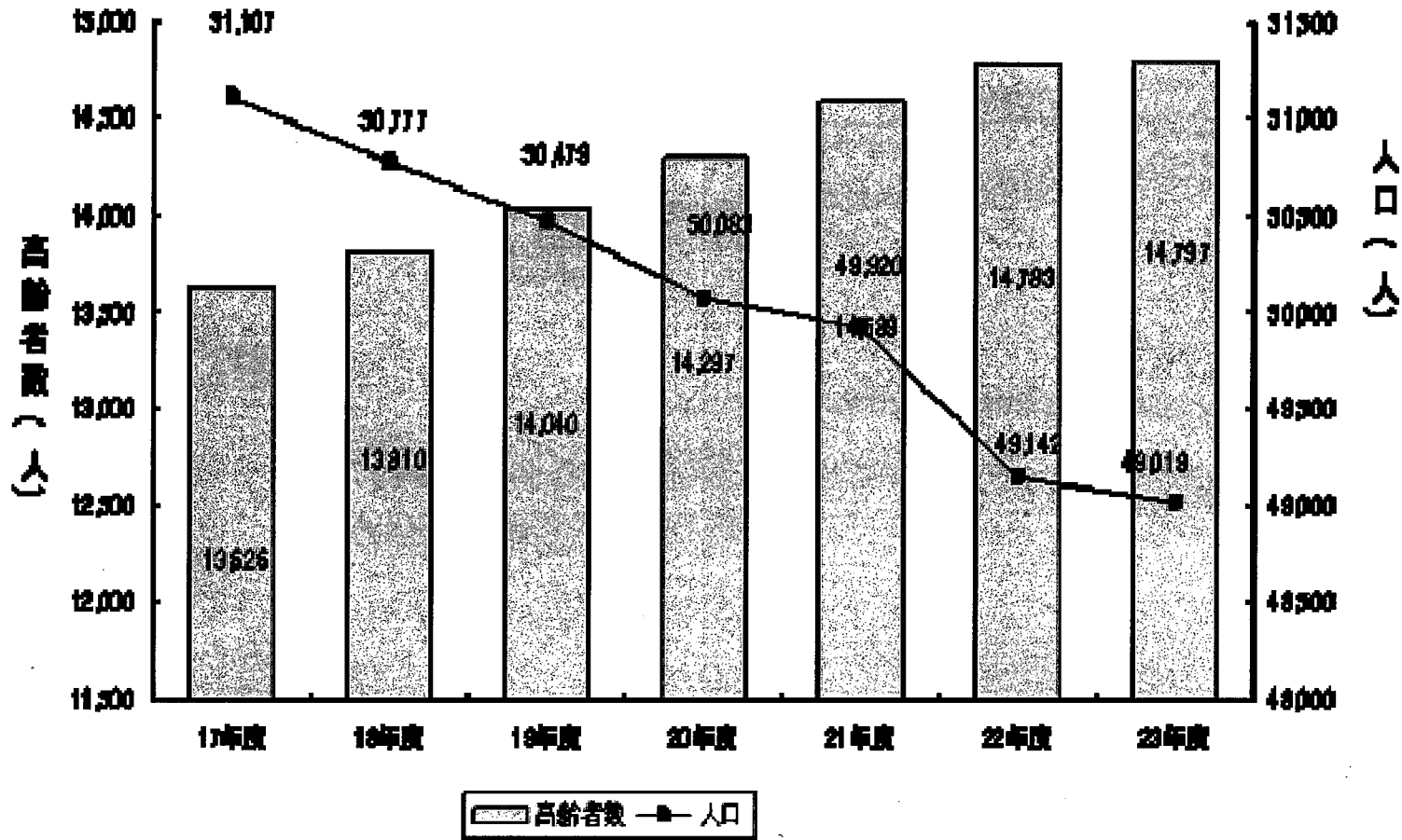
期間は平成22年4月～6月の3ヶ月間。

調査票については厚生労働省から提示された83問のほか、市独自の設問12問を追加して実施した。

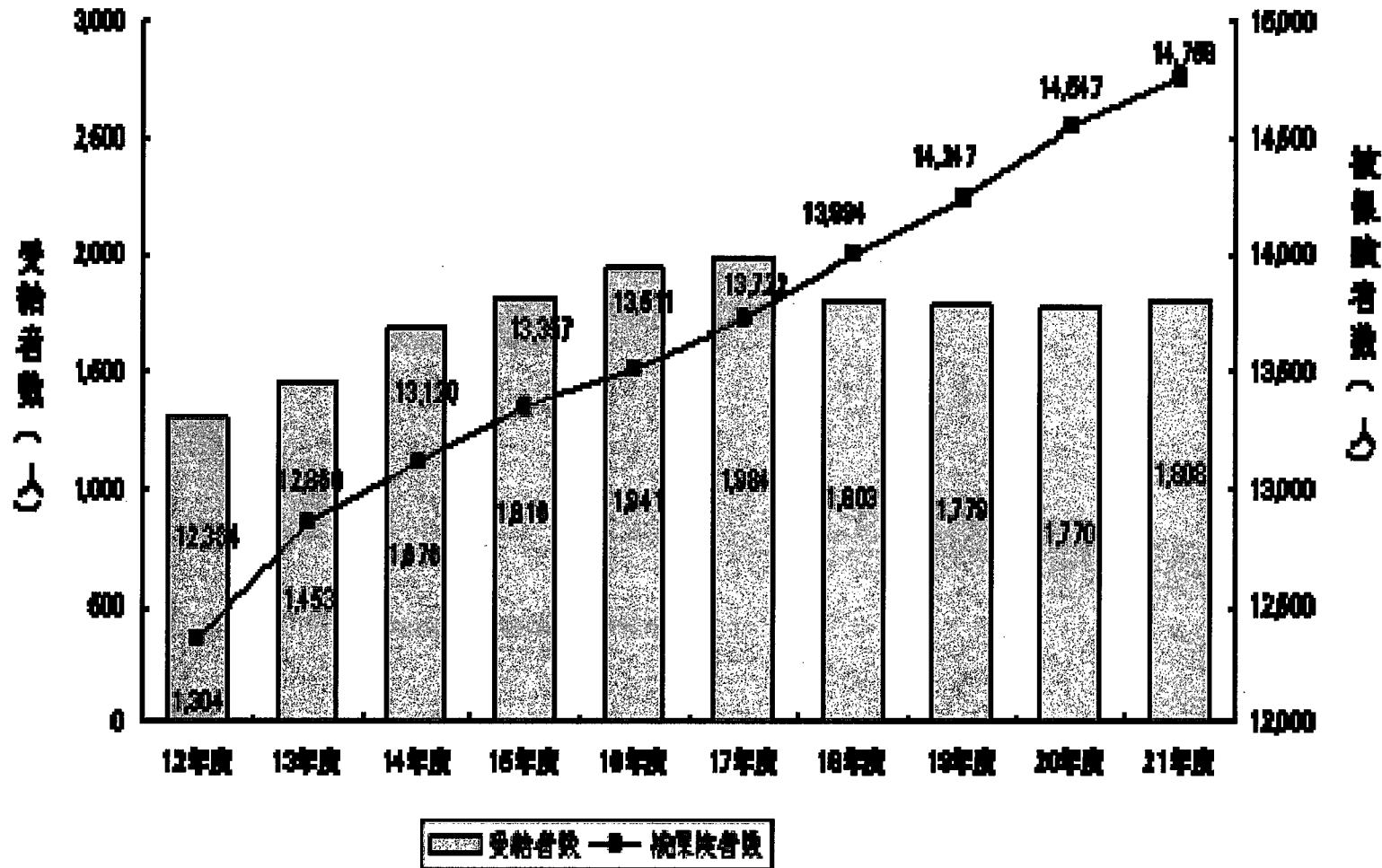
調査方法については郵送と未返送者には訪問し聞き取り調査を行った。

ニーズ調査の集計・分析をもとに今までの事業の検証と23年度事業にどのように反映させるか検討した経過について今回報告する。

北杜市の人口・高齢化率



被保険者数と受給者数



要介護認定者数の推移

	要支 援1	要支 援2	要支 援 合計	経過的 要介護	要介 護1	要介 護2	要介 護3	要介 護4	要介 護5	要介護 合計	総計
平成18年 4月	16	28	44	290	553	337	303	250	194	1,927	1,971
平成19年 3月	152	256	408	0	204	387	348	261	195	1,395	1,803
平成20年 3月	106	260	366	0	206	373	372	265	197	1,413	1,779
平成21年 3月	101	255	356	0	225	378	412	233	166	1,414	1,770
平成22年 3月	142	252	394	0	282	338	334	261	199	1,414	1,808
平成23年 3月	130	257	387	0	236	372	351	278	210	1,447	1,834

給付費の状況・保険料

	給付費	受給者数	一人あたり給付費額
平成 18 年度	28.09 億円	1,803 人	1,557,958 円
平成 21 年度	30.88 億円	1,808 人	1,707,964 円
	9.9% ↑	0.2% ↑	9.6% ↑

- ※ 高齢者人口増加とともに被保険者数は毎年度増加している一方で、受給者数はこの 4 年間でほぼ横ばいに推移している。
- ※ 給付費実績は、平成 18 年度に比べ、平成 21 年度は 9.9% 伸びている。
- ※ 受給者は、ほぼ一定で推移しているため、一人当たりの利用金額が伸びている。

北杜市の保険料

第 1 次北杜市基準介護保険料額 月額 3,170 円 / 年額 38,040 円

第 2 次北杜市基準介護保険料額 月額 3,595 円 / 年額 43,140 円

北杜市地域包括支援センター

- ・ **直営1ヶ所**

(市役所 市民部 介護支援課内)

- ・ **3職種 11名体制**

(保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士)

- ・ **地区担当制**

総合相談、予防プラン...など



ニーズ調査への取り組みと経過 -1-

- 平成20年度から基本チェックリストを総合検診案内とともに1号被保険者全員に送付、回収していたが返送されない高齢者の相談も多いことから平成20, 21年の2年間返送してこない1, 678人の高齢者への実態調査訪問を計画・実施
- 地域の高齢者の生活実態の把握と課題、23年度事業への活用のため平成22年度の「日常生活圏域ニーズ調査モデル事業」と市で計画した実態調査(ニーズ調査票を活用)への取り組みを実施
- ニーズ調査票は提示された83問に市独自の設問12問を追加
- 調査方法は郵送・臨時職員の聞き取り・地区担当保健師による聞き取りとした

ニーズ調査への取り組みと経過 -2-

- 調査結果は集計ソフトを利用(385人)
- 市独自で集計(588人)———表1



- 全国平均との比較表の作成———表2
- 市の特徴をまとめる
- 課題と解決策を検討———表3
- 地域支援事業への反映
- 新事業の検討
- 個人結果票を活用した相談、指導
(地区公民館での予防教室等)

二一ズ調査集計

表1

町名	- 69		70 - 74		75 - 79		80 - 84		85 -		計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
明野	3	5	8	7	7	5	1	13	3	19	22	49	71
須玉	2	3	5	8	6	9	17	17	5	21	35	58	93
高根	2	3	6	12	9	14	9	7	5	16	31	52	83
長坂	6	6	11	5	14	19	7	17	2	12	40	59	99
大泉	3	3	5	8	9	10	5	5	2	4	24	30	54
小淵沢	3	3	5	6	10	14	6	9	4	12	28	44	72
武川	1	3	2	4	8	4	2	7	2	10	15	28	43
白州	2	5	2	5	7	10	6	11	5	20	22	51	73
計	22	31	44	55	70	85	53	86	28	114	217	371	
	53		99		155		139		142				588
比率	9%		17%		26%		24%		24%				

全国平均との比較(北杜市の特徴 1) 表2

	比 較	考 察
家族構成	<ul style="list-style-type: none"> 一人暮らしが全国14%に対して22%と高い(1.5倍) 特に80歳以上の女性の一人暮らしの割合が高い(全国で4、5人に1人北杜市2人に1人) 	<ul style="list-style-type: none"> 地元には若い人の働き口がなく甲府などに出て行き、夫と死別した方?
同居人	<ul style="list-style-type: none"> 家族と同居していても意外にも5人以上で暮らしている方は少なく(平均の2/3)二人暮らしの割合が高い。老夫婦の二人暮らしかは不明 	<ul style="list-style-type: none"> 将来は女性の一人暮らしが増える?
介護必要?	<ul style="list-style-type: none"> 介護・介助の必要はない、と答えた方の割合が高く、特に80歳以上の方での割合は全国に対して1.5~2倍と高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 農家は元気な方が多いのか? 元気な方を選定してしまったのか?
病気	<ul style="list-style-type: none"> 筋骨格系との回答が全国の1.5倍と高い 	
外出	<ul style="list-style-type: none"> 外出していない方が全国より1.5倍多い 	<ul style="list-style-type: none"> 畑には行くが外出はしない?
買い物の頻度	<ul style="list-style-type: none"> 週1回の方が全国の2倍の半数を超えている 	<ul style="list-style-type: none"> 週末家族が来たら車に乗せてもらい買い物という方が多い
散歩の頻度	<ul style="list-style-type: none"> 「ほぼ毎日」と逆に「週1日未満」の割合が高い 	<ul style="list-style-type: none"> 畑に毎日出かけていたが足腰の痛みで全く出なくなってしまう?
通院の頻度	<ul style="list-style-type: none"> 半数を超える方が月1回通院している 	<ul style="list-style-type: none"> 受診や薬をもらいに月1回通院している方が多い

全国平均との比較(北杜市の特徴 2)

表2

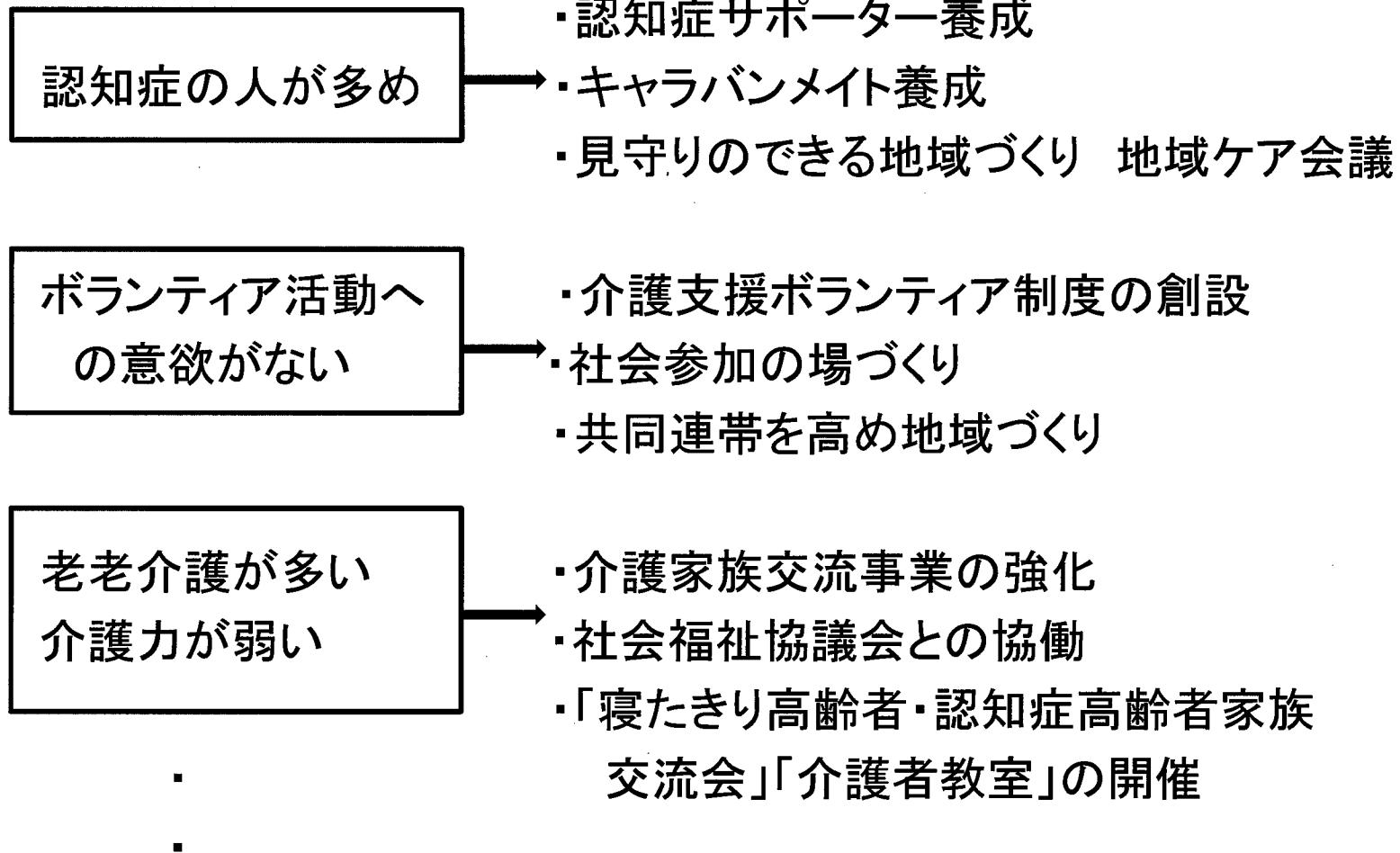
趣味の頻度	・ 趣味で外出される方が極端に少ない	
移動手段	・ 自転車の利用が極端に少なく、車に乗せてもらう方が多い	・ 山坂があり自転車には向かない
地域活動	・ 自治会・老人クラブへの参加比率が低い	・ 高齢化により会の活動が縮小している地域も多い
BMI	・ 「肥満」の割合が低く「やせ」の割合が高い	
閉じこもり	・ 5割増	
治療中の病気	・ 脳卒中の割合が2倍 ・ 筋骨格系との回答が高い 特に男性が2倍	
希望サービス 具体的に	・ 希望した方は16% ・ ひざ痛予防教室、市内循環バスがベスト2	・ デマンドバスの登録代行も行った
将来の生活	・ このまま自宅で、との方が8割を占める	

日常生活圏域ニーズ調査から考えられる北杜市の課題と解決策

結果から見えるもの	考えられる解決策・事業など
<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし、二人暮らしが多い (80歳代女性の3人に1人が一人暮らし) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動として話し相手、家事手伝い、お茶飲みボランティアの普及や地域の活動のさらなる育成 ・前期高齢者の人たちの活動の場を広げ、そのままの地域のつながりが後期高齢者にもつながるようになればいい(支援ボランティアの活動の場を介護施設以外にも広げられるといいかも) ・宅配食事サービスの立ち上げや普及、介助付買い物ツアーの新設 ・介護保険内外の制度やサービスと地域包括支援センター等の情報の周知 ・インターネットの見直し(市役所のホームページを分かりやすく使いやすいものに)
<ul style="list-style-type: none"> ・膝・腰痛の人が多い(農作業などが影響) ・運動をしている人が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動教室の開催 <ol style="list-style-type: none"> 1)歩いていける場所での開催、年間通じての開催、いつでもタイムリーに参加可能にする 2)デマンドバスを利用した教室の開催 ・農作業を運動と考えている方も多いため、健康情報を正しく伝達する機会をつくる ・早い時期(50～60代)からの健康教育での体操の普及(健康増進課とも協力して周知してはどうか) ・北杜〇〇体操をつくり広める(テレビやチラシ等を使い気運づくりをする)

	<ul style="list-style-type: none"> ・若い頃から体力測定・筋力測定を実施(若い時からの意識付け、老たとき評価しやすい) ・骨粗しょう症健診後のフォローの必要 ・畑仕事による骨の変形を防ぐ方法の情報提供、すでに症状がある人は、膝などに無理のかからない生活の情報を提供する ・運動教室など行政で実施した活動を自主グループ化させグループの紹介を市民に行う
<ul style="list-style-type: none"> ・外出は週1回未満が多い(閉じこもり) ・買い物や友人宅に行くことが少なく、老人クラブの参加が少ない ・外に出ない ・移動手段が少ない(人の車に乗せてもらうしかないなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンドバスの利用の周知や充実 <ol style="list-style-type: none"> 1)路線の検討(市外等にも路線を増やす、利便性のある路線に変える) 2)介助が必要な人も利用できるように(自宅前まで送り迎えする等) 3)老人クラブやゲートボールに参加するためのデマンドバスの利用 4)近所に300円では高い気がする。150円など半額ではどうか ・65歳になったら老人クラブに入ってもらえるようなキャンペーンをする ・社会福祉協議会などに働きかけ老人会などを活発にする ・はつらつシルバー事業を充実させる(介護予防サポートリーダー活用) ・買い物ができる環境整備(高齢者の見守りと商店街の活性化がセットできればよい) ・移動販売のシステムづくり(灯油の配達と一緒に注文したものが届く、弁当を配達途中で届けるなど) ・商店街に対するキャラバンメイト研修、配達してくれる店舗に「高齢者にやさしい店」の認証、高齢者へ紹介できるシステムの検討 ・ ・ ・ etc.

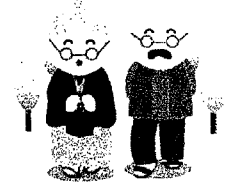
23年度地域支援事業への反映



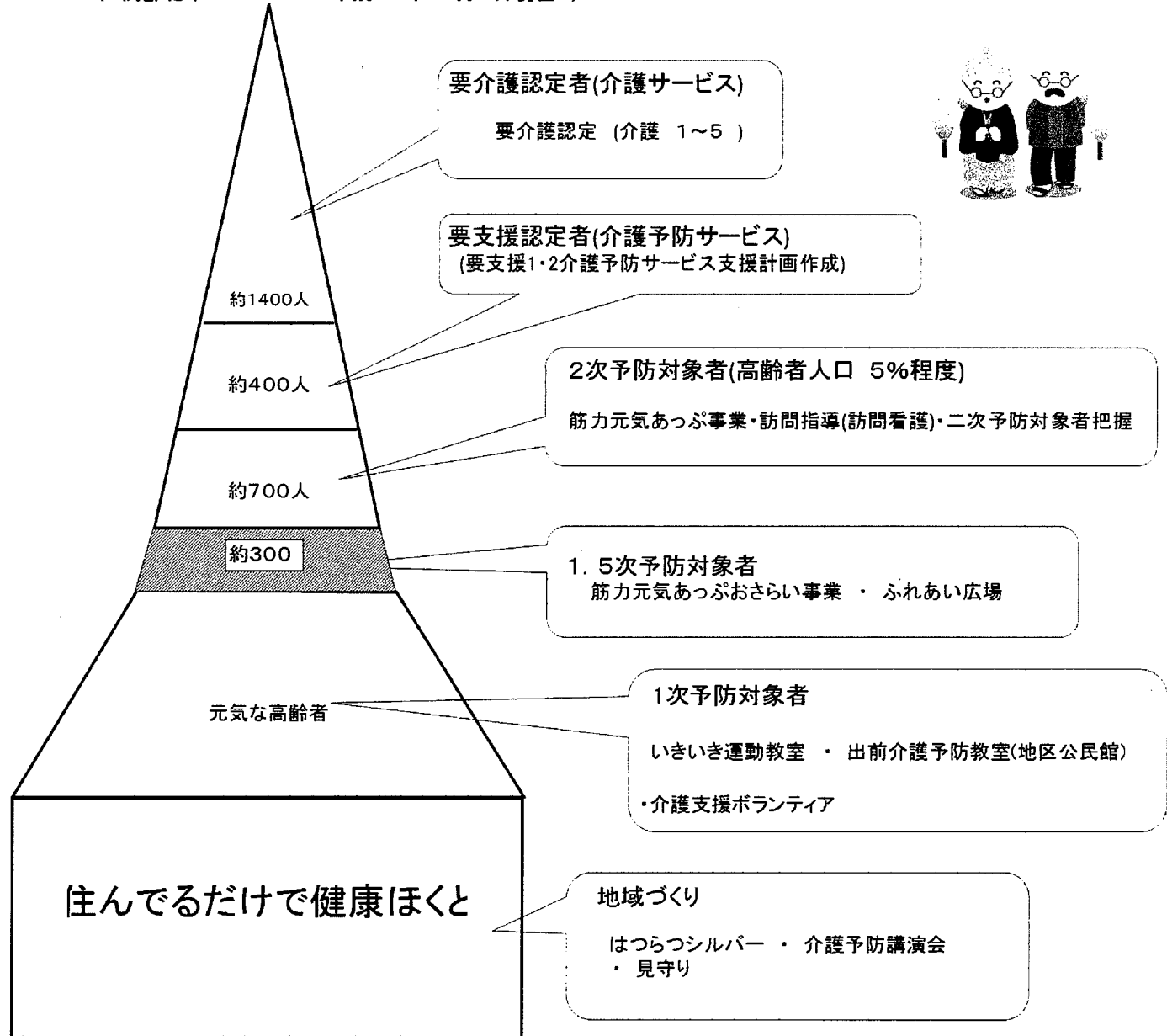
ニーズ調査で実態を把握することにより今までの事業の評価と今後の方向性が見える

北杜市地域包括支援センター・対象者別業務一覧

～ 北杜市の高齢者人口 65歳以上14,700人 /北杜市の総人口約49,000人 ～
 (高齢化率 30.14% 平成22年12月1日現在)



- ☆キャラバン・メイト
- ☆認知症サポーター
- ☆認知症予防サポーター
- ☆介護予防サポートリーダー
- ◎家族介護継続支援事業
- ◎成年後見・権利擁護事業
- ◎包括的・継続的ケアマネジメント事業
- ◎介護給付等費用適正化事業
- ◎総合相談



- 第5期介護保険事業計画策定の視点

北杜市

- 地域包括ケアの推進
- 介護予防の推進
- サービスの充実
- 介護保険、保険外サービス提供者との連携、協力体制の構築
- 地域・民間活力の活用と協働
- 介護保険事業の安定運営

介護保険事業計画の策定

- 地域包括ケアの実現を目指すため、第5期計画（平成24～26年度）では次の取組を推進。
 - ・ 日常生活圏域ニーズ調査を実施し、地域の課題・ニーズを的確に把握
 - ・ 計画の内容として、認知症支援策、在宅医療、住まいの整備、生活支援を位置付け

日常生活圏域ニーズ調査

- ・ どの圏域に
- ・ どのようなニーズをもった高齢者が
- ・ どの程度生活しているのか

地域の課題や
必要となるサービスを
把握・分析

調査項目（例）

- 身体機能・日常生活機能
（ADL・IADL）
- 住まいの状況
- 認知症状
- 疾病状況

介護保険事業計画

これまでの主な記載事項

- 日常生活圏域の設定
- 介護サービスの種類ごとの見込み
- 施設の必要利用定員
- 地域支援事業（市町村）
- 介護人材の確保策（都道府県）など



地域の実情を踏まえて記載する新たな内容

- 認知症支援策の充実
- 在宅医療の推進
- 高齢者に相応しい住まいの計画的な整備
- 見守りや配食などの多様な生活支援サービス

地域包括ケアの実現に向けて

地域包括ケア一個々の高齢者の状況やその変化に対応して、介護保険サービスを中核としつつも、医療をはじめとした様々な支援、さらにはボランティア等の住民活動などのインフォーマルな活動も含めて、地域の様々な資源(自助・互助・共助・公助)を統合し、住民の生活全般にわたり24時間365日の支援を行うケア

地域包括ケアを支える中核拠点

⇒地域包括支援センター

地域の現状

住民ニーズに合わせ、介護保険、医療保険、見守りなどの生活支援、成年後見等様々な支援が切れ目なく提供されなければならないが、有機的な連携が見られない。

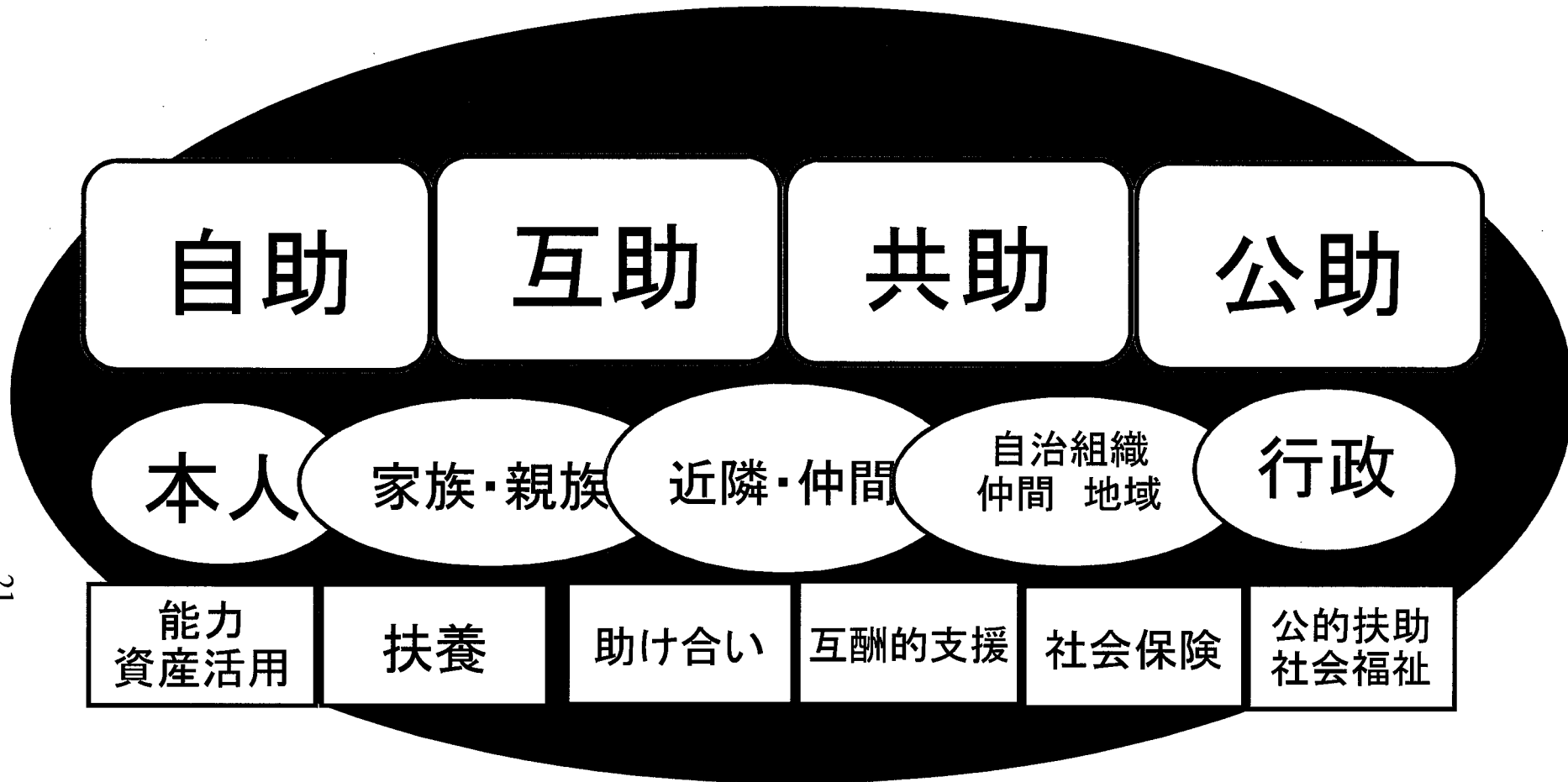


★地域において包括的・継続的につないでいくためには自助・互助・共助・公助の役割分担の明確化と再確認が必要。

★個別ケース支援を通じ、医療や介護等多制度、多職種の連携を高める地域ケア会議等の機能強化が必要。

★地域住民や地域団体との連携を通じた地域における互助によるサービス創造の検討・提言が必要。

(日本社会福祉士会地域包括ケアに向けた事業展開より)

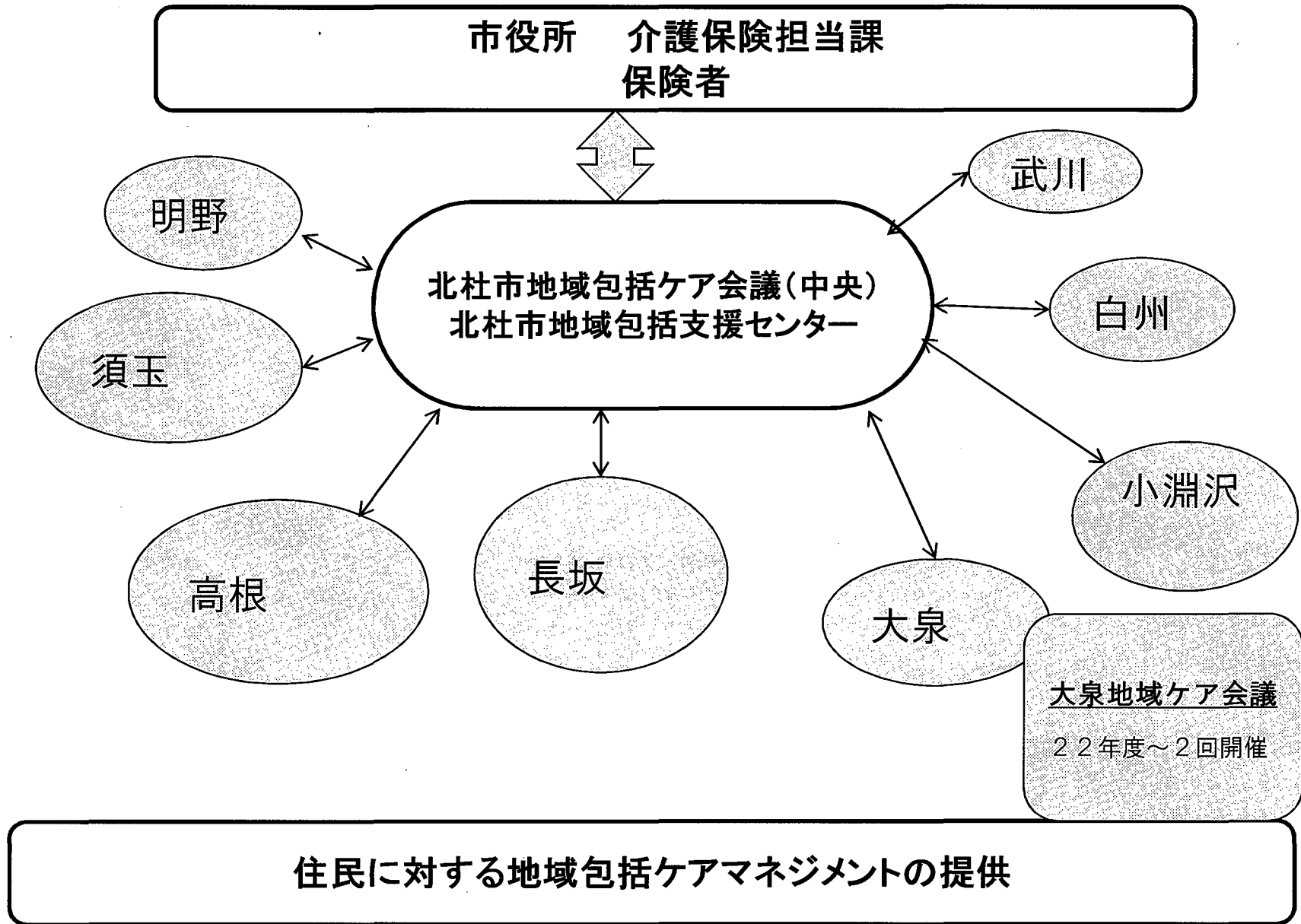


- * 自助・・・自助努力
- * 互助・・・家族・友人・近隣人・ボランティア等
- * 共助・・・地域の助け合い体制など
- * 公助・・・行政支援など

北杜市における地域包括ケアの実現に向けて

- * 地域の実態把握－8つの地域の特徴
- * 日常生活圏域ニーズ調査と第5期介護保険事業計画実態調査
- * 地域ケア会議の開催－8つの地域ケア会議
- * 各地域で地域ケア会議を開催（地区担当を中心に）
 - ・事例を通して
 - ・ニーズ調査から
 - ・地域課題を見つける
 - ・役割分担の確認
 - ・必要なサービス等の検討
- * 生活支援サービスの確保

北杜市地域包括ケア会議



地域包括ケア体制整備に向けて（現在）

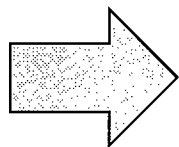
- ・市役所総合支所……8町の合併前旧庁舎、地域市民課
住民にはなじみ深い
- ・民生委員会……8町にそれぞれ民生委員協議会がある
毎月の定例会に地区担当が出席
総合支所地域市民課で事務局
- ・医療……各々ケースごとで相談、往診医との連携
- ・介護保険事業所……2ヶ月に1回会議開催・合同研修会
- ・北杜警察署……生活安全課、地域課
(虐待立ち入り調査時の援助要請、駐在所との関わり)
- ・その他……介護保険外事業所との意見交換(H21年度～)
民間ヘルパー、配食サービス、便利屋など

- ・調整会議……市民部、福祉部によるサービス調整会議
事例検討、情報交換

地域包括支援センタースタート～

→ 包括と各々(社会資源)が繋がる

今後



庁内の協働 → 手始めに全職員対象に認知症
サポーター研修実施(4回)

住民との協働 → 地域づくり・地域の活性化

☆大泉地区：認知症で独居の方の徘徊事例

夕方、外を出歩いて自宅に戻っていないのを
民生委員さんが発見

困った民生委員さんは市役所に連絡(休日でした)

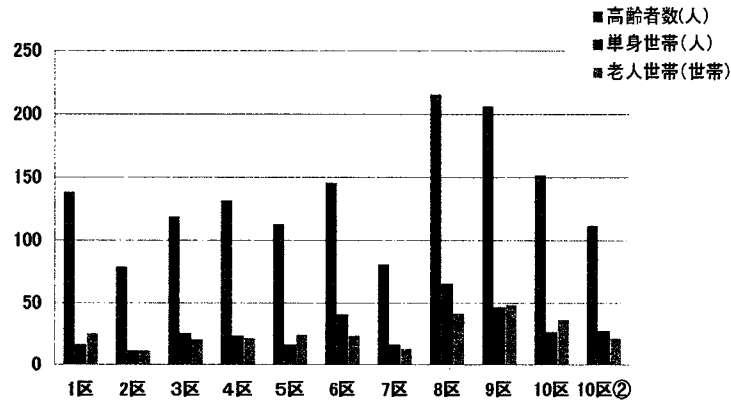
民生委員会の時、「認知症が増えた」

「独居の人も多い」との声

地区の規模、民生委員さんのまとまりも良い

⇒**大泉地区ケア会議開催を提案**

大泉町の高齢者の様子



民生委員さんの声

- ・地域の事情などを把握するために訪問活動を積極的に行っているの自分たちの活動を知って欲しい
- ・地域の中にはいろいろな人がいる。困ったときにはどこに相談すればいいのか迷う。相談窓口を知りたい
- ・介護保険サービスを利用している人は、どんなサービスを利用しているのか把握しておくとかあった時には連絡が取れる。
例えば…一人暮らし、認知症の方、高齢者世帯
- ・最近、家族の形も変わってきている。高齢者だけ残して、子供は県外にいる。独身の息子が高齢の親と生活している。どうしても、支援が必要になる場合が多い。家族の連絡先も分からないこともある

駐在さんの声

- ・モノを盗られた、怪しい訪問販売が来た、と通報してくる高齢者がいる。一人暮らしの場合は誰かに声をかけておくこともできないでそのままになっている。声かけできる窓口や人がいればいい。民生委員さんと知り合いになれば、伝えやすいようになる。
- ・どこに民生委員さんがいるのか知っておけばお互いに相談しやすくなる。
- ・徘徊している人の保護のこともあるので、地域の方にも協力していただくことがある。

ケアマネージャーさんの声

- ・必要時には、情報収集や見守りをお願いしている。民生委員さんの見守りや協力はとてもありがたい。
- ・独居の在宅生活などの場合、近所との繋がりはとても重要だが、最近は近所と繋がりが少ない方もいる。
- ・地域の中で介護保険サービスを利用している方はケアマネが付いている。いろいろな事業所があり、ケアマネは一人ではない。

社協さんの声

- ・はつらつシルバー事業や給食事業などで民生委員さんには協力していただいている。
- ・社協としても、高齢者と民生委員さんと関わる窓口があるのでは。

地域包括支援センターの声

- ・認知症の相談が多くなっている。独居の方などは、受けた相談をどこにつなげていけばスムーズに支援できるのだろうか。民生委員さんや近所など地域の方に協力していただく部分も出てくる。
- ・独居で子供が県外に住んでいる人も多い。緊急時の対応など課題はある。
- ・定年後に越してきた移住者の方も増えている。地域との繋がりが少ないので、情報が入りにくい状況もある。

平成21年度介護保険新規申請理由(人数)

	北社市	大泉町
認知症	125	12
脳血管疾患	55	6
転倒、骨折	53	3
関節疾患	13	1
生活不活発病	44	0
悪性新生物	42	0
精神疾患	9	0
その他	116	15
合計	457	37

元気で過ごせる 大泉バージョン
 ~5年後・10年後も元気で在宅~

見守りします

大泉駐在所も市役所や民生委員さんと一緒に見守ります

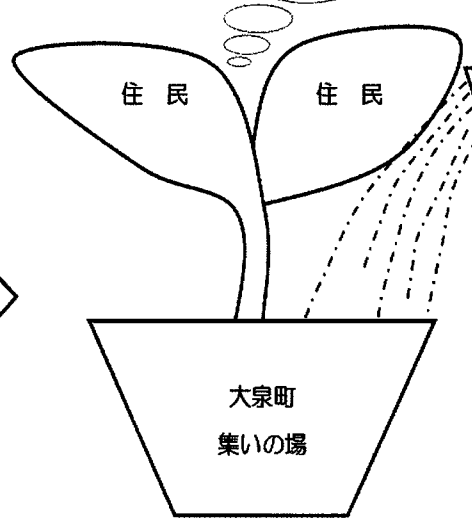


后方支援をします

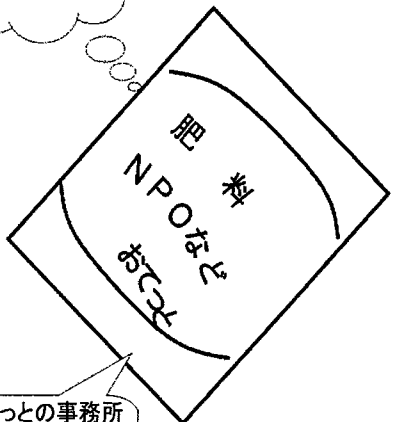
支所は地域包括支援センターとのつなぎ役ができるように・・・
 ・困りごとの相談に対応できるように窓口を明確にしよう
 ・高齢者が安心して地域で暮らせる体制作りをしていく
 ・地区担当を明確にしておこう

・民生委員として地域の相談役になろう
 ・民生委員の役割が見えにくい・・・
 ・民生委員をすることで色々な住民の方と関わられた

元気な花を咲かせたい😊



成長のお手伝いをします



おてつとの事務所で集いの場が作れたらいいな・・・



お花を咲かせるために頑張っています

・社協は老人会の事務局や福祉運動会などのイベントを開催して地域づくり
 ・要介護状態の方のケアならケアマネにおまかせ

介護予防・日常生活支援総合事業について

利用者の状態像や意向に応じて介護予防、生活支援(配食、見守り)、権利擁護、社会参加も含めて市町村が主体となって総合的で多様なサービスを提供

対象者

1. 要支援と非該当を行き来するような高齢者
2. 介護保険利用に結びつかない高齢者
3. 自立、社会参加意欲の高い高齢者

介護予防・日常生活支援総合事業の創設

・想定される利用者の現状の把握

平成23年4月 「要支援1」サービス利用状況

「要支援1」	計
人数	111
1人暮らし	30
独居割合	27.0%

要支援1利用者のサービス利用状況

【利用サービス 内訳】 ※複数回答

	計	利用割合
利用なし	17	15.3%
訪問介護	31	27.9%
訪問看護	7	6.3%
訪問リハ	1	0.9%
デイサービス	55	49.5%
デイケア	7	6.3%
認知通所	0	0.0%
ショート	1	0.9%
レンタル	18	16.2%
小居宅	0	0.0%
住宅改修	2	1.8%
配食サービス	1	0.9%
おてつと	1	0.9%
計	141	

【サービス利用目的 内訳】 ※複数回答

	計	利用割合
下肢筋力の向上	32	28.8%
認知予防	12	10.8%
うつ予防	3	2.7%
交流目的	32	28.8%
介護者負担軽減	4	3.6%
家事支援	19	17.1%
入浴目的	28	25.2%
O2管理	3	2.7%
計	133	

新サービス整備・地域包括ケア実現のために

- 地域包括支援センターの強化
- 高齢者の生活を支える多様なサービスの整備
地域支え合い体制づくり事業の活用

32

- ニーズ調査結果の活用がどこまでできるか
- 地域ケア会議の継続実施